

# RESAS

## を分析してみよう

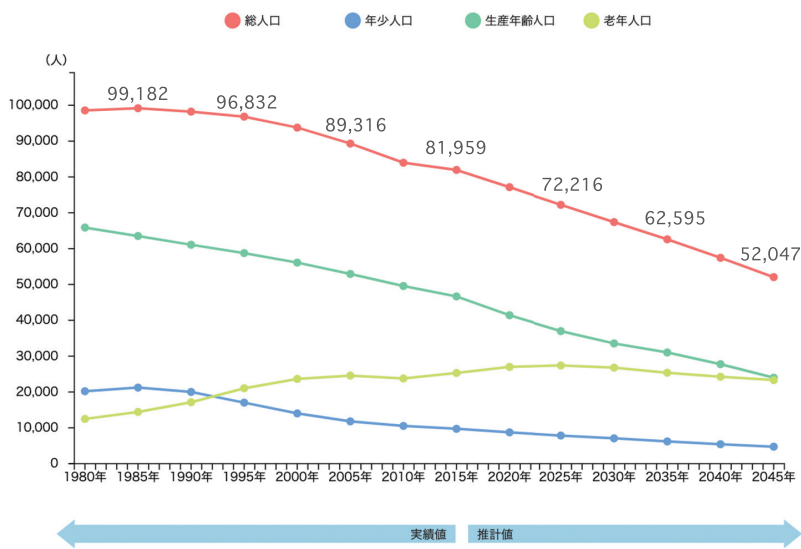
宮城県  
登米市

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）をグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

## 人口

<https://resas.go.jp>

RESAS

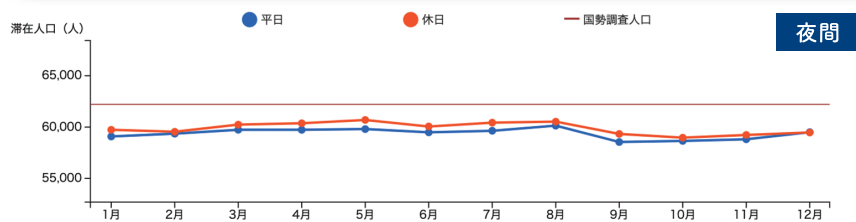
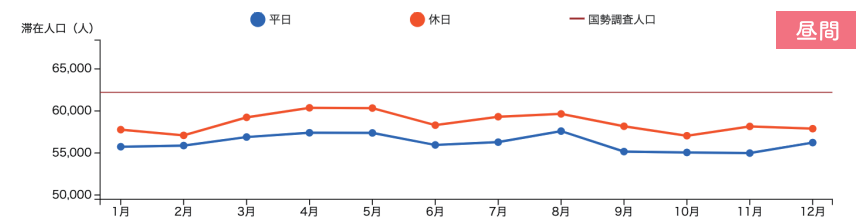
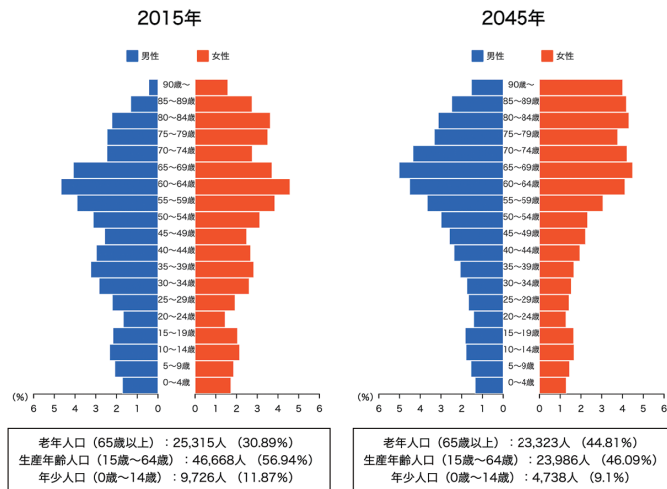


\* 人口マップ→人口構成→人口推移

## 人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。老年人口の割合をみると、2015年の30.9%から2045年には44.8%まで上昇。一方、生産年齢人口は2015年の56.9%から2045年には46.1%まで低下する見込みとなっている。労働力不足が加速することが予測される。

\* 人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



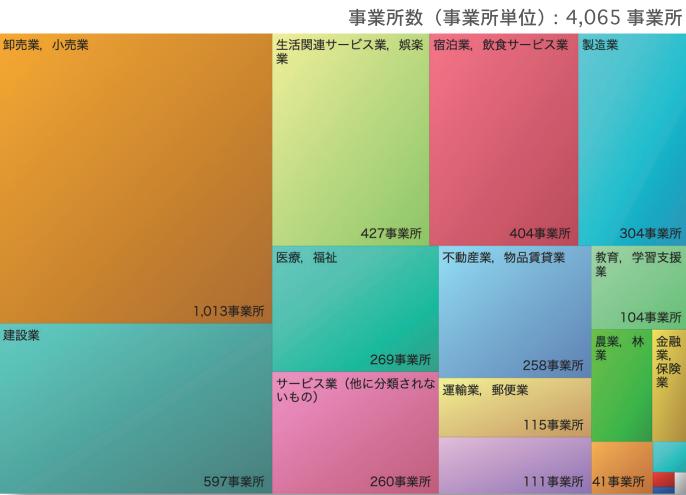
\* まちづくりマップ→滞在人口率

## 滞在人口 (2020年、上:昼間、下:夜間)

昼間人口と夜間人口を月ごとに比較したグラフである。夜間人口の方が昼間人口より多いことから、他の市町村への通勤・通学者数（流出口）が他の市町村からの通勤・通学者数（流入人口）よりも多いといえる。

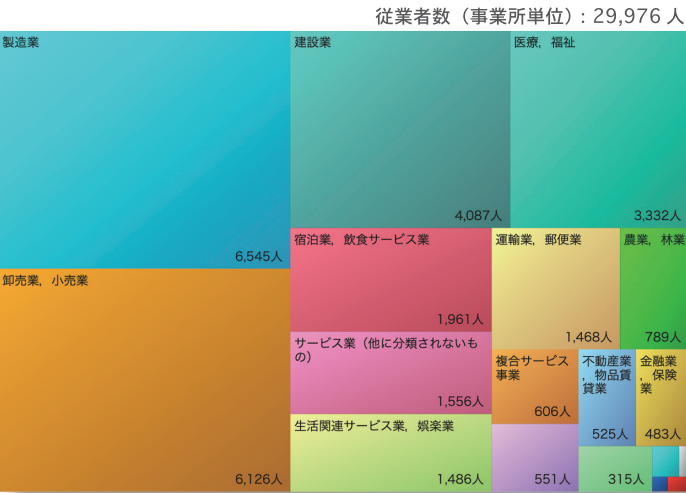
※昼間は14時、夜間は20時のデータを掲載している

# 産業構造



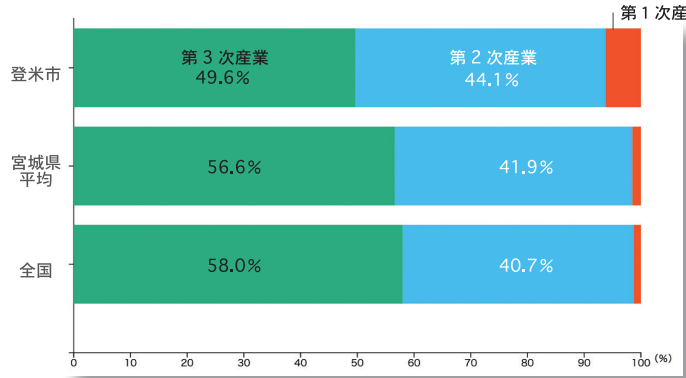
## 事業所数（事業所単位）大分類（2016年）

業種ごとの事業所数を面の大きさを示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業，小売業」で1,013 事業所。全体の24.9％を占めている。その後、「建設業」の597 事業所、「生活関連サービス業，娯楽業」の427 事業所が続く。



## 従業者数（2016年）

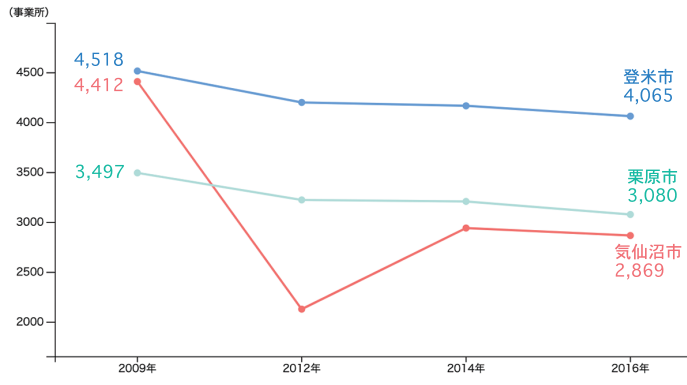
業種ごとの従業者数を面の大きさを示したグラフである。もっとも多いのは「製造業」で6,545 人。全体の21.8％を占めている。その後、「卸売業，小売業」の6,126 人、「建設業」の4,087 人が続く。



\* 地域経済循環マップ→生産分析

対象地域：登米市  
比較地域：気仙沼市、栗原市

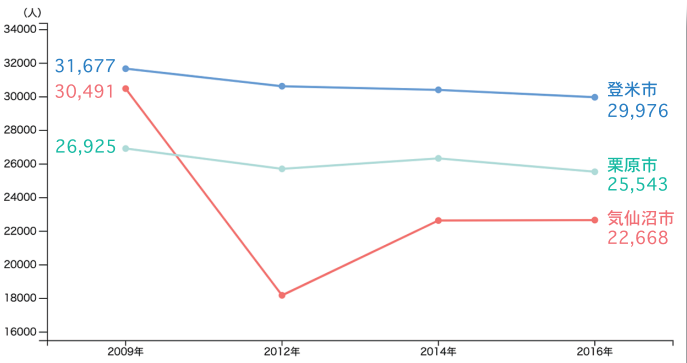
\* 左：産業構造マップ→全産業→全産業の構造  
\* 右：産業構造マップ→全産業→事業所数



## 事業所数の推移

事業所数の推移をみる。2016 年の事業所数は4,065 事業所。7 年前の2009 年と比較すると10.0％減である。他地域をみると、栗原市は11.9％減、気仙沼市は35.0％減となっている。

\* 左：産業構造マップ→全産業→全産業の構造  
\* 右：産業構造マップ→全産業→従業者数（事業所単位）



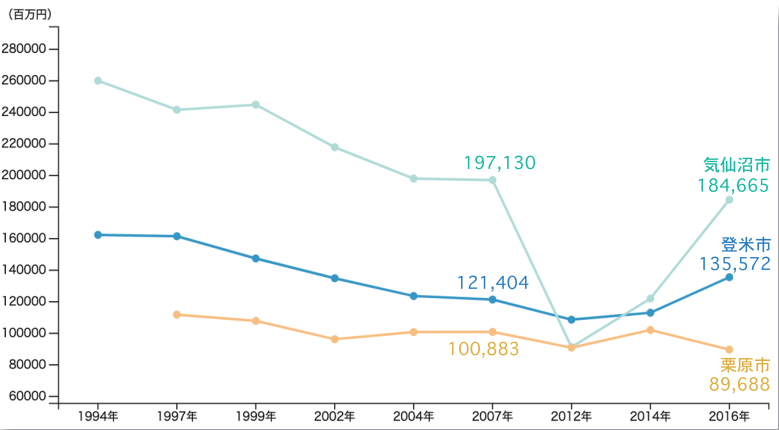
## 従業者数の推移

従業者数の推移をみる。2016 年の従業者数は29,976 人。7 年前の2009 年と比較すると5.4％減である。他地域をみると、栗原市は5.1％減、気仙沼市は25.7％減となっている。

## 地域内産業の構成割合

登米市の産業の構成割合を全国および宮城県と比較したグラフである。もっとも割合が高いのは第3次産業で49.6％を占めている。また、第2次産業は44.1％と、全国の40.7％、宮城県の41.9％と比べて高くなっている。

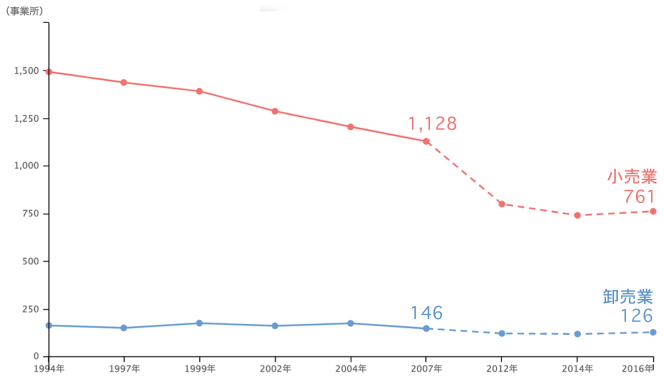
# 小売業・卸売業



\* 産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

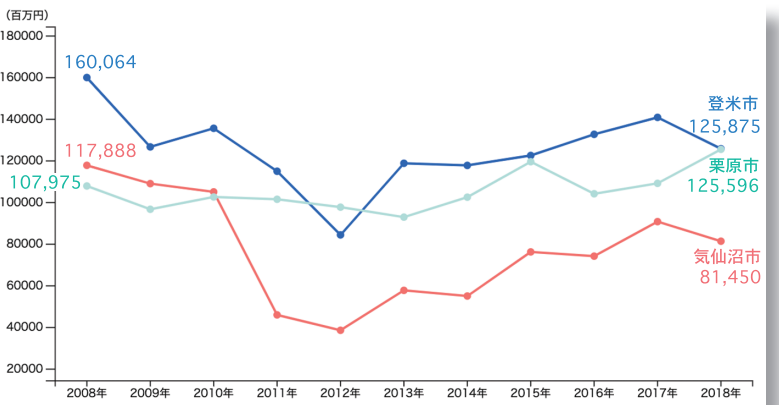
## 事業所数（小売業・卸売業）の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2016 年の事業所数は小売業761 事業所、卸売業126 事業所。9 年前の2007 年と比較すると小売業は32.5％減、卸売業は13.7％減となっている。



\* 産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造

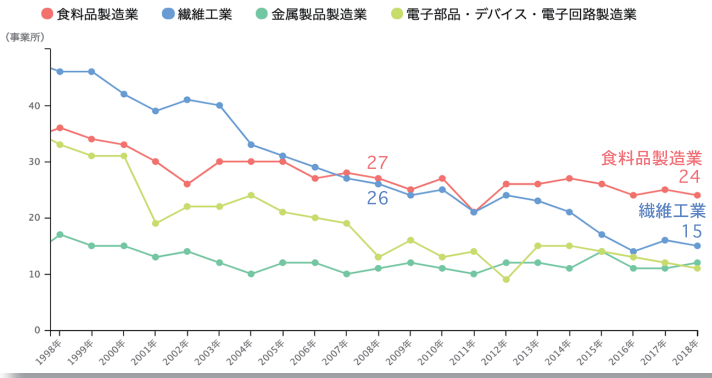
# 製造業



\* 産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等

## 事業所数（主要製造業）の推移

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。登米市には、①食品品製造業、②繊維工業が多い。10 年前の2008 年と比べると、いずれも事業所数が減少している。

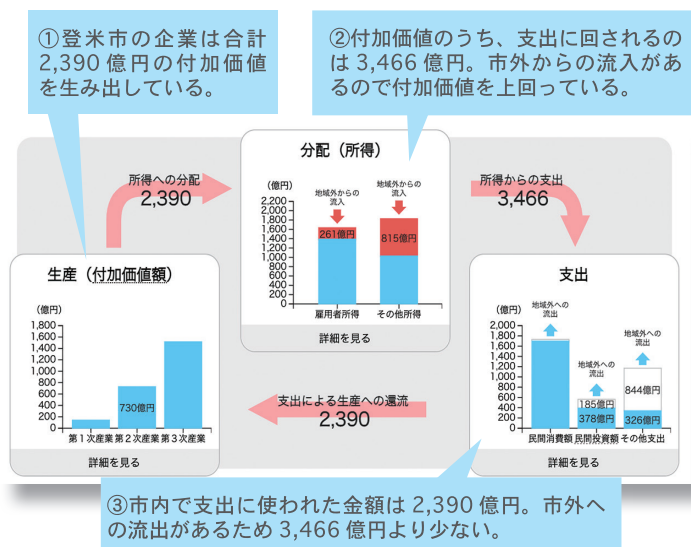


\* 産業構造マップ→製造業→製造業の構造

# 地域経済循環

## 地域経済循環図（2015 年）

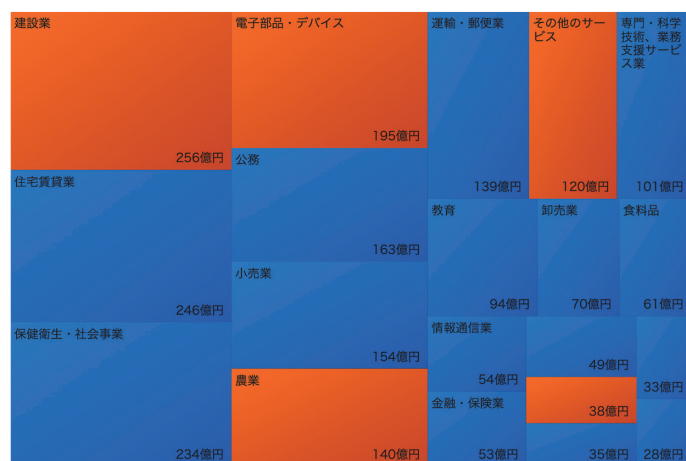
地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。



\* 地域経済循環マップ→地域経済循環図

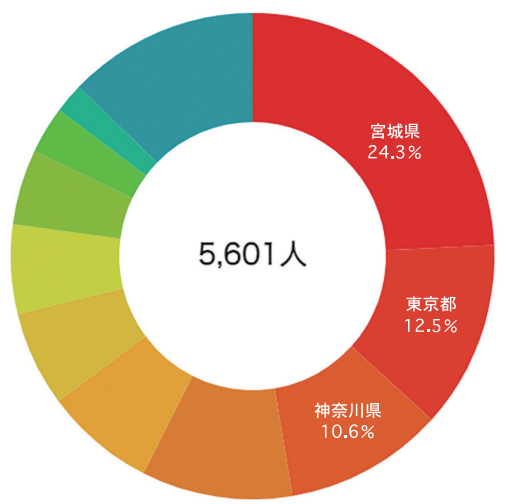
## 生産分析（2015 年）

左図の「生産（付加価値額）」の内訳を面の大きさに示したグラフである。付加価値額が高いのは「建設業」「住宅賃貸業」「保健衛生・社会事業」である。なお、グラフの色は、地域外から稼いでいる産業（赤色）と地域外から必要としているものを調達している産業（青色）を表している。



\* 地域経済循環マップ→生産分析

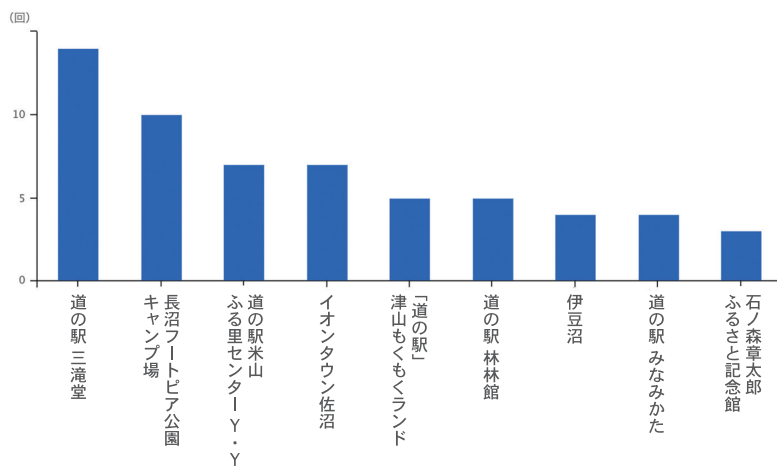
## 観光



\* 観光マップ→From-to分析（宿泊者）

## From-to 分析（宿泊者）（2020 年）

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合を示したグラフである。宮城県が 24.3% ともっとも多く、東京都が 12.5% と続く。



\* 観光マップ→目的地分析

## 目的地検索ランキング（2020 年 3 月・休日）

カーナビで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「道の駅 三滝堂」「長沼フットピア公園キャンプ場」の検索回数が多くなっている。

発行：みやぎ北上商工会

〒987-0621 登米市中田町宝江黒沼字大海崎 6（中田本所）

TEL: 0220-34-3255 FAX: 0220-34-3261

<https://miya-kita.jp/>

